

しまもと・にぎわい地域活性化交流会

議事録

平成27年10月22日(木)

午後2時～4時

島本町商工会・中小企業診断士 岩橋 亮

本年度2回の交流会の目的

町内外に統一感をもった島本町のPR・情報発信の仕方を考え、情報発信を充実させる。

現状の地域活性化事業活動を地域住民と事業者が主体となり、地元商店へのにぎわいと島本町のさらなるにぎわいにつなげる。

10月22日(木)の内容

昨年より試行中の『しまもと・にぎわい・ねっと』の広報しまもと
およびフェイスブックページの運用ルールを決め、
島本町の情報発信媒体として本格稼働する基礎を固める。

※資料 『しまもと・にぎわい・ねっと運用方針(案)』

10月22日(木)の成果

■しまもと・にぎわい・ねっと運用方針の策定

- ・たたき台をもとに運用方針の策定が完了。
- ・しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会で承認の上、完成。

■しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会の発足

- ・しまもと・にぎわい・ねっとを今後運営していく推進委員会が発足
- ・具体的内容

フェイスブックページにおける不適切な投稿の削除
情報拡散の促進
双方向性の強化

【しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会】

■委員長

・株式会社長井工務店 長井 正広氏

■メンバー

・アトム電器みなせ店 谷口 一郎氏

・野村不動産(株) 野村 篤 氏

・小林酒店 小林 万千子氏

・ユミズフラワーズ 竹内 由美子氏

・岩橋マネジメントサービス 岩橋 亮氏

・※個人として参加 和田 智之助氏

・Hanamone * 高橋二美子氏

・島本町にぎわい創造課

・島本町商工会

【しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会】

■ 推進委員会の運用方法

非公開または秘密のフェイスブックグループを作成し、話し合う場とする

1. 各自が個人アカウントをとる
2. 谷口さんにID(名前を伝える)
3. 谷口さんがフェイスブックグループ(秘密)を作成し、推進委員会のメンバーをグループに参加させる。

フェイスブックページについての意見交換

- メイン投稿はしまもと・にぎわい・ねっとわーくのメンバー。ビジター投稿、コメント、シェアはどなたでも可能。自由に投稿していただき、管理者(推進委員会で決定)がチェックをかける
- 間口を広げることが重要。投稿のハードルは低くしてほしい
- 「しまもと・にぎわい・ねっと」のID・パスワードは公開してはいけない
- イベントをしていることを広範囲に広げて双方向の意見のやりとり、タイムリーな時にタイムリーな投稿があるのも魅力
- 「会議してます。」「準備してます」というのを発信する。「こういう人が尽力してます」というのを拡散。それを見て参加した。4~5人が「めっちゃがんばってる。」ではなく、「みんなで協力してやっついこう」というイメージ
- 例えば、夏祭りのボランティア。青年部OBだけがやっている。みんな知らない。夏祭りの踊っているだけではなく、見えないところでやっている人をPRする。そうすると、「参加したるか」につながっていかないか
- フェイスブックでゴミ袋の様子とかをみた。消防団の取り組みがわかった。住民の人の動きが見える
- 一番いいのは、フェイスブックにイベントの反響があるくらいになる。「しまもと・にぎわい・ねっと」にイベントのクレームがあがるくらいになればいい
- フェイスブックの勉強会が必要
- フェイスブックグループ・メーリングリストなどが必要。極力集まらなくて済むようにする

その他の意見交換

- 参加団体については、「参加していただけますか」と再度確認する
 - ✓ 島本町商工会が文章を作成し、本交流会の報告とともに案内を出す
- 個人情報に関する取り扱いは推進委員会で作成する
- 企業は運用方針上の団体扱いとする
- 推進委員会の任期、定数、改選等については今後推進委員会で検討する